

## ‘荒川を遡る’ 完結！

『去年の4月に熊谷を出発した、荒川遡行隊がのべ7日間を費やして、ついに最終目的地の甲武信岳に到達することができました。1年以上にわたり多くの会員の力を合わせて目標を達成できたことに大きな喜びがあります。今回の真ノ沢遡行も、信州側から登った仲間とほぼ同時に甲武信小屋に到着して、おいしい手料理をつまみに祝杯を上げることができ、うれしさもひとしおでした。ありがとうございました。』  
(荒川を遡ろう実行委員会リーダー浅見記)

## 6月例会は22名が出席、学習は 沢登り、岩場通過を想定したロープワーク講習を行う

「基本的なロープの結び方を丁寧に教えて頂いたので、家でもその後数日は手すきびに練習しました。次は、セルフビレイのとり方等を含めての実地練習をお願いします」(感想：栃原記)

### ～～ ‘さあ夏です、沢です!’ ～～

**沢登りの楽しみ①水遊び**…毎年最初に沢に入る時の冷たさとうれしさが何とも言えません。真夏となれば滝の下の釜で泳いだり、ナメ滝の滑り台で遊んだり。童心に帰れます。膝まで濡れるだけでも、野生に帰ったような楽しさがあります。ぜひ多くの人に味わってほしいです。

**沢登りの楽しみ②ルートファインディング**…沢に入ると、自分の目と頭でどこを登るか考えます。たとえばひとつの滝を登るとき、右か左かあるいは水流の中か、または少し戻って高巻くか。高巻きが安全とは限りません。かえって直登した方が安全なこともあります。その場で決断して登ります。そして、谷の底にいる自分たちの位置を地図と磁石を頼りに割り出して目指す鞍部や稜線にびたりと飛び出した時の快感も沢登りの大きな魅力です。知的なゲームのような楽しみがあります。

**沢登りの楽しみ③たき火**…流木を集めて、火をつけ飯を炊く。仲間と語り合い。酒を飲み。寝る。山小屋もテントもいいけど夏はたき火でしょう。やさしい沢で大勢でたき火ぜひやりたいですね。

体験版…湯桧曾川東黒沢、秩父大持沢、大菩薩曲沢

初級……那須井戸沢、奥多摩水根谷

中級……湯桧曾川白毛門沢、秩父大洞川荒沢谷・桂谷

いくつか候補をあげましたが、いかがでしょうか。ご意見お待ちしております。(浅見記)

## 2007年夏のアルプスは、次回例会で決定します

- ・期 日…8月24日(金)～26日(日) 2泊3日
- ・山 域…案①中央アルプス・木曾駒ヶ岳～空木岳  
千畳敷～木曾駒～宝剣山荘(泊)～檜尾岳～木曾殿山荘(泊)～空木岳～池山尾根
- 案②南アルプス・塩見岳  
鳥倉林道～三伏峠小屋(泊)～塩見岳往復～小屋(泊)～烏帽子岳往復～鳥倉林道

### 次回例会のお知らせ

7月7日(土) 午後3時30分～ 熊谷市立コミュニティセンター※別添地図、駐車場は市役所へ

**学習：「ストレッチ」**(外部講師：松井氏<熊谷農業高校体育教師>)

※13:30から記念誌委員会を開催するので、編集委員&事務局員は出席してください。

## 2006/2007・山スキー総括 pp 課題が明確となったシーズンでした yy

「記録的な少雪」となった今冬、真冬になってもブッシュスキーと寂しい状況でしたが、春期になって標高の高い山は豊富な残雪に恵まれるという、本当に不思議なシーズンでした。会山行は19回、16名の会員が延べ80回の山スキー山行を行いました。今年は、新たに2名のベテランと若手会員が入会し、他の山スキーメンバーに活気をもたらしました。

今シーズンの主な山行を振り返ると、11月の立山初滑りから始まり、11名という大勢でトレースした1月初級山行飯縄山、2月のニセコ激パウダー、3月のアイスバーン浅間山、国境を越えた4月の朝日岳ナルミズ沢滑降縦走、GWの鳥海山と黒部五郎カール、熊谷から見える富士山の滑降、6月下旬まで残雪を追い求めた白山、蓮華岳など例年以上の成果でした。

その反面、恒例山行となっている正月の八甲田山でメンバーが雪崩に完全埋没という事故を起こしました。結果的にはビーコン捜索から掘り出し無事に救出し、日頃のセルフレスキュー訓練の成果が発揮されたとも言えますが、すぐにメンバーによる原因を含めた山行の検証、事故報告書を作成することにより、様々な課題も明確となりました。会としてはもちろんのことですが、何より事故現場で救出に当たることとなる会員個人が、あらゆる登山技術の向上、ビーコン探索、埋没者の搬出、救急法、山の気象、雪崩のメカニズムなどを知るなど、もっと力量を高めていく必要があります。事故時などいざという時に会の仲間が救出してくれる、いやできる限りを尽くしてくれることが、山仲間、そして山岳会の存在意義でもあります。

今回の事故を過去のものとして、毎年の学習テーマの題材とするなど、会の財産としていかねばなりません。リスクのない山など存在せず、特に様々な厳しい条件下にある冬山ですべてのリスクを回避することは不可能かもしれませんが、昨シーズンの総括でも書いた『もっとも有効な事故防止策は、登山者それぞれが「危険の予兆」を嗅ぎ取る力をつけ、判断能力を高めていくしかない』ということ全員で肝に銘じ、真摯に真面目に山に向かっていきましょう。

### 当面の会山行計画

- 1 奥多摩・川苔谷・逆川沢登りでシャワークライミング** [計画者:浅見]  
日 程：7/8(日) 川苔林道～大ダワ沢出合～ウスバ林道～川苔山出合  
参加者：L 浅見、南雲、宮田、木村
- 2 北海道北日高連峰・伏見岳、ピパイロ岳、戸蔭別岳、幌尻岳縦走** [計画者:南雲]  
日 程：7/13(金)～16(月) 帯広空港＝北日高連峰縦走(テント2泊&予備1日)＝千歳
- 3 那須・苦土川井戸沢、峠沢、中ノ沢、沢登り&ニッコウキスゲ稜線散歩&たき火キャンプ** [計画者:浅見]  
日 程：7/21(土)～22(日) 三斗小屋宿跡BC～峠沢遡行～BC(泊)～井戸沢遡行～中ノ沢下降  
参加者：L 浅見、石川、南雲、木下、木村
- 4 北アルプス・針ノ木岳でコマクサ鑑賞** [計画者:新井]  
日 程：7/23(月)～24(火) 扇沢～針ノ木雪渓～蓮華岳往復～針ノ木小屋(泊)～  
針ノ木岳往復～針ノ木雪渓～扇沢  
参加者：L 新井、八木、山崎、並木、吉田
- 5 故村越会長7回忌法要&イント・ヒマヤ・ルジャールナラワラワトレッキング<15day>** [計画者:福田、大嶋、栗原]  
日 程：7/27:成田→テリ 28:→チャンティカール→マナリ 30:→ウダイール 31:→カンクサル(3440m)  
8/1:→ルジャールナラ(3925m) 2:→シブシジャールBC往復 3:→カンクサル 4:→ウダイール  
8/5:→エイトモル 6:→チャントラタル→マナリ 7:“法要” 8:→ナラカール 9:→テリ 10:→成田  
参加者：高野、白根、栗原、逸見、高橋、大嶋、豊島、伊藤(わらび)  
後発隊：福田、金子…8/9(木)～8/18(土)
- 6 花の宝庫・朝日連峰縦走** [計画者:駒崎]  
日 程：8/1(水)～4(土) 朝日鉱泉(泊)～朝日岳(泊)～竜門山～以東岳(泊)～大鳥池  
参加者：駒崎、木村

### 当面の日程等

- ・9月例会 9/1(土)15:30～市民ホール(予定) 学習:「高山植物or茸や山菜または救急法」(講師:未定)
- ・埼玉県連創立40周年・労山フェスタ 9/29(土)～30(日) 秩父元氣村

